

世界に一つ、明礬温泉にだけ咲く

薬用「湯の花」の花の力

古くから疲労回復や皮膚病など湯治効果の高い温泉として親しまれてきた大分県別府八湯のひとつ、明礬温泉。

この日本屈指の温泉郷だけで採取される「湯の花」には、大地の恵みである温泉成分がたっぷり含まれています。

温泉成分が凝縮された 結晶「湯の花」。

明礬温泉一帯から噴き出す、もうもうとした湯けむり。その温泉ガスをギュッと凝縮させ、白く美しい温泉成分に結晶化させた湯の花は、天然の入浴剤です。

医薬部外品
湯の花の効能

あせも、いんきん、うちみ肩のこり、くじき、
神経痛、しつしん、しもやけ、痔、ただれたむし、
冷え性、水虫、腰痛、リウマチ、かいせん



▲湯の花の結晶

殺菌作用

洗浄作用

抗酸化作用



▲平成24年、明礬温泉の湯けむりは、国の重要文化的景観にも指定されています

江戸時代から続く
変わらぬ製法は、
国の重要無形民俗文化財に
指定されています。

明礬温泉に立ち並ぶ、わら葺き屋根の小屋。それが湯の花をつくる「湯の花小屋」です。

この小屋の内部で温泉の噴気と青粘土を利用して1日1ミリずつ成長させます。

江戸時代から約290年続く

変わらぬ製法・技術は、世界唯一のもので、国の重要無形民俗文化財に指定されています。

世界唯一の
技法



◀湯の花小屋の内部

▼湯の花小屋

